



Experience Cloud PLATFORM

Adobe Experience Platform 概要

- コース目的：あらゆるデータを顧客プロフィールに変換し、顧客体験の管理を実現できるAdobe Experience Platform 機能の概要を実際の環境を利用してご紹介するコースです。
- 受講対象者：アーキテクト、開発者、データサイエンティスト、コンサルタント、ビジネスおよびマーケティングマネージャー、データアナリスト、マーケティング担当者。
- 実施日数/時間：1日 / 10:00~17:00
- 前提条件：データ分析の基本的な知識。またコース中にGoogle Chromeブラウザ、Adobe Experience Cloudデバッガー、データ分析ツール（Microsoft Power BIまたはTableauなど）、Postman、PSQL、およびOpenSSL（オプション）を利用しますのでこれらのインストールができる環境をお持ちの方。これらのインストールについてはコースをお申込みいただくと、手順書を送付いたします。

■ コース内容

章	内容	実習有無
1章	Adobe Experience Platformの概要 Platformの機能と利点について、Platformのアーキテクチャ、UIの紹介	実習あり
2章	Adobe Experience Platformでのデータ管理 Platformでのデータ取り込みパイプラインの説明、XDMスキーマの利用、Platformでのデータ取り込み方法について、Platformでのデータガバナンスについて	実習あり
3章	Experience PlatformのIDサービス、統合プロフィール、セグメンテーションの詳細 Platformで顧客プロフィールの作成について、Postmanを利用したAdobe I/Oに対する認証、Platformでの統合プロフィールの確認、デバイス間データを統合プロフィールに追加、Platform UIでセグメントを作成、Platform APIでセグメントを作成	実習あり
4章	Adobe Experience Platformへのクエリー Platformのクエリーサービスの紹介と操作、PSQLサーバーとAEPの接続、AEP UIで特定のXDM値のクエリーを実行、PSQLで特定のXDM値のクエリーを実行する方法、AEP UIでデータ分析のための基本的なクエリーを作成する方法、PSQLでのデータ分析のための基本的なクエリーを作成する方法、Adobe Defined Functions（ADF）について、AEP UIで特定のコンテキスト値を取得するためにADFを使用してクエリーを記述する方法、ADFを使用してクエリーを記述し、PSQLの特定のコンテキスト値を取得する方法、AEP UIで利用可能なオンライン、コールセンター、ロイヤルティデータを組み合わせたクエリーを作成する方法、AEP UIのクエリー結果からデータセットを作成する方法、Microsoft Power BI でPlatform データのビジュアライゼーションレポートを作成する方法、TableauでPlatformデータのビジュアライゼーションレポートを作成する方法	実習あり
5章	Platformのデータサイエンスワークスペース データサイエンスワークスペースの概要（Jupyterラボ、Jupyterノートブックの概要、機械学習のレシピ、機械学習モデルのトレーニング、機械学習モデルのテスト、機械学習モデルの適用、APIエンドポイントについて）、AEPへのAnalyticsデータの読み込み、AEPのNotebookを使用したAnalyticsデータの変換、Recipe Builder Notebookについて、マシンラーニングモデルのレシピの作成、レシピに基づいてマシンラーニングモデルをトレーニングおよびテストについて	実習あり